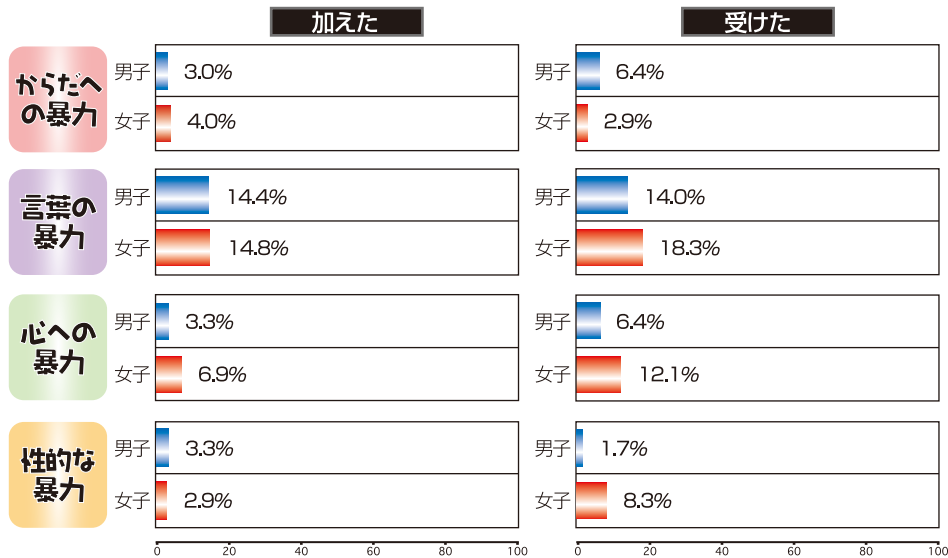




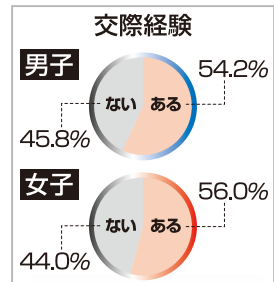
わたしも  
あなたも  
大切に

## 高校生の「デートDV」に関するアンケート調査

・対象：県立高等学校 2年生19校〈抽出〉(男子299人、女子420人、計719人) (平成21年度 兵庫県教育委員会)



※参考：経済的な暴力を加えた男子2.0%、女子1.0%、受けた男子2.0%、女子1.4%



女子の約5-6人に1人が「言葉の暴力」を、約8人に1人が、「心への暴力」を受けたことがあります。

## チェックリストを使って、確認してみましょう。

チェックが1つでもついたら、「デートDV」について、あやまった思いこみをしている可能性があります。ふたりの関係を、見直す必要があります。

※チェックリスト (<http://www.hyogo-c.ed.jp/~jinken-bo/dvbousi-pamph/seito12.pdf>)

## あなたや友だちが、傷ついていませんか？

自分も相手も大切な存在です。



### 「自分が・・・」

ひとりで解決しようとせず、友だちや家族、担任や養護教諭などの学校の先生や、まわりの信頼できる大人に相談しましょう。

### 「友だちが・・・①」

友だち自身は打ち明けにくいかもしれませんが、友だちの代わりに、気づいた人がまわりの信頼できる大人に相談をすることで、友だちを助けることができます。

しかし、友だちからの相談を、自分ひとりで解決するのは、さげましょう。あなたにも危険が及ぶこともあります。担任や養護教諭などの学校の先生や、専門の相談機関を頼りましょう。

### 「友だちが・・・②」

友だちの言動が、交際相手を傷つけているかもしれないと感じたら、そのことを伝えるのも大切です。

担任や養護教諭などの学校の先生や、まわりの信頼できる大人に相談し、解決方法を見つけましょう。

- いやなことを無理じいされたら、**NO!**という権利があります。
- あなたのひとことが、だれかを助けるきっかけになることがあります。
- DV (ドメスティック・バイオレンス) は、社会全体の問題です。